







この事件は本当に起こってしまった事件です。

パワハラ防止法とも照らし合わせて確認していきましょう。

## パワハラ防止法から学ぶ

裁判の記録からわかるのが

上司や会社は「遊び心、余興として実施した罰ゲーム」という考えだったようです



しかし、Aさんは

- ・ 事前にコスチュームを着ることは聞かされていませんでした
- ・ その場で拒否することは非常に困難な状況でした

そして当然ですが、

研修会でコスチュームを着させることは、研修会や発表には関係がありません

\* 「仕事の上で必要ではない行為」です



## Point

裁判では

仮に任意であったとしても、研修会でコスチュームを着させる上司らの行為は「仕事の上で必要ではない行為」であり違法になると判断しています

さらに上司らは、Aさんの了解を得ずにコスチューム姿を撮影して別の研修会で大きなスクリーンに映し出しています



これは、コスチューム着用を求めたことに加えて、さらにAさんに心理的負担をあたえています。

Aさんの姿を『同意なく』投影したことも問題です。

## Point

労働者の真意が明確でないまま職務と無関係なことをさせることは、仮に労働者がその時点では不満そうな様子を見せていなくとも、ハラスメント、違法行為であると判断されかねません

パワハラ、セクハラの加害者になってしまう方は、

『無自覚』にハラスメントを起こしてしまうことが多いです。

まんがにあるようなハラスメントに当たりうる行為は避け、  
よりよい職場環境を作っていきましょう